

ともしび通信

2つのチャペルクリスマス

主を待ち望む「待降」、主を祝う「降誕」



クリスマス (待降)

日曜礼拝

12月19日 (日)

I AM 10:30 II PM 4:00

クリスマス (降誕)

キャンドル礼拝

12月24日 (金)

PM 7:30

教会では主イエスキリストの誕生を待ち望む「待降」と主イエスキリストの誕生を祝う「降誕」の特別礼拝が持たれます。クリスマスイブの礼拝ではキャンドルを灯しながらの礼拝となります。どうぞクリスマスウィークは心からの平安と希望のときを教会でお迎えください。

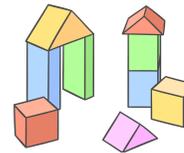
町田バプテスト教会

町田市つくしの2-31-4 【TEL】 042-796-3822

集会のご案内

教会の詳細はホームページでもご紹介しています。
www.ne.jp/asahi/machida/church/

子育てサークルハンナの会



ハンナの会は子育てに疲れたり悩んでいるお母さんに元気を与える会です。お様はお預かりしますのでゆっくりお話しができます。体験してみませんか。

毎月第4火曜日
10:30~13:00 昼食付き

トールペイントサークル



賛美とメッセージの心穏やかなひととき...。色とりどりの花を描く思索のひととき...。お茶を飲みながら語らうひととき...。一緒にいかがですか。

毎月第1水・金曜日
10:00~12:30

木曜婦人集会



家事、育児、仕事に忙しい女性達がありのままの自分でいられる場所。聖書で新しい力を得、励まし合い、明日への指針を見出せる、あなたの時間です。

毎週木曜日(第2木は婦人礼拝)
10:30~12:00

日曜礼拝

聖書の主題であるイエス・キリストを通して、人生の意味や心の問題を解く鍵が礼拝で語られます。

毎日曜日
I 礼拝 10:30~11:45
II 礼拝 16:00~17:00

教会学校

幼児から大人に分かれて、聖書を系統的に学んでいます。とくに子ども達にとって生きぬく世の中を歩む上で聖書の学びは生涯の宝です。

毎日曜日 9:00~10:00

水曜礼拝・祈り会

週の半ばの夜、日々を振り返りながら静かに神を礼拝し、メッセージに耳を傾けます。講解説教で、各巻を順番に学んでいます。

毎水曜日 19:30~21:00

壮年会

壮年会ではテキストを使う聖書の学び、賛美集会、教会カフェ、日帰り温泉などのプランがあります。

毎月第2日曜日 13:30~15:00

婦人会

日曜午後の集いは、各々が抱えている問題を話しあい、喜びも困難も分かち合う、穏やかなひと時です。

毎月第2日曜日 13:30~15:00

青年会

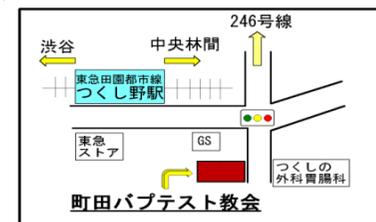
大学生から社会人まで、月1回ランチをともにしながら、語り、励まし合い、祈りあう集いの時です。

毎月第2日曜日 12:30~13:30

- どの集会も参加自由です。気軽にお越しください。
- 質問や相談ごとはどんなことでもお尋ねください。
- 送迎の必要な方は、ご遠慮なくお申し出ください。
- 町田市つくし野 2-31-4
- TEL&FAX 042-796-3822

編集後記

「ともしび通信65号」をお届けします。チャペルクリスマスのご案内号です。「もろびとこぞりて」や「きよしこのよる」はイエスキリストの「降誕」を祝う賛美歌です。その前にアドベントというイエスの誕生を待ち望む期間があります。日本語では「待降節」。「ひさしくまちにし」など心に滲みる賛美歌が歌われます。どうぞ「待降」「降誕」の2つの集会にご期待ください。(徳島昭)



愛が始まるとき、愛が消えるとき

以前「愛されないと愛せない」ということは聞いていて「ギク」としたことがありません。自分の本心を言い当てられたような気がしたからです。聖書の一番大切な教えは「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。」ルカ10章27節ですが、自分自身を愛せない者が、隣人を愛することは無理だなあと感じていたので。人は、だれもが愛の大切さを知っており、相手を愛そうとしていると思います。しかし愛によって始めても、相手に理解されず、相手から愛が返って来なければ、いつかその愛は消えてしまいます。ではどうすれば良いのでしょうか？

聖書に、主(神)は遠くから、私に現れた。「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。」エレミヤ書31章3節、と言っています。

クリスマスの夜、神は御子イエス・キリストをこの世に遣わし、信じるすべての人に消えない神の永遠の愛を注ぐと約束してくださいました。

クリスマス集会にぜひお出かけください、神からの永遠の愛を自分のものとされ、隣人をどこまでも愛する力を得られますことを願っています。

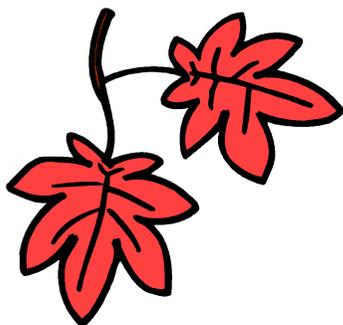


秋の紅葉に自分の人生の色を見る

紅葉の美しい季節となりました。教会前のアメリカハナミズキは、今年は寒さが急だったせいか明るい赤に染まっています。また、成瀬の恩田川沿いの桜も木が大きいぶん、赤、黄、黄緑と重層感のある見ごたえのある変化に富んだ色合いをしています。秋の紅葉は、人生にたとえれば晩年の色のような気がします。

木々の葉は春から秋にかけてはどの木も緑一色だったものが、秋になるとそれぞれが違う色に染まるように、人生の色も若い時は同じようであっても、歳を重ね晩年になるとそれぞれの色を現わすのだと思います。

そうなると思ふのだから先の人生の色合いは他の人から見るとどんな色になるのか心配になります。



心の成長とは、「相手の気持ちをより深く思いやることだ」と聞いたことがあります。教員生活を定年退職し4年が経ちました。少しずつ増えていく自由な時間を自分の思いを通すためではなく、毎日接するひとりひとりの「気持ち」をより深く思いやる「ために」少しでも多くの時間を捧げていくことができれば幸いです。



私的映画批評

「死に花」

二〇〇四年日本作品 松本勇哉

ホラー映画ではありません。近所のDVD屋で『死に花』という背表紙を見たとき、『その花を見る』と死ぬ『みたいなホラー映画かなと思っただ。ただ、その棚は「ヒューマン・喜劇」。ホラーなわけがない、と思いつつ手にとって見たところ・・・『平均年齢73歳の銀行強盗』って書いて、ありました。しかも出演者も超豪華、これは観るしかないと思って観てみました。

主人公は高級老人ホームのおじい達4人組。

最後に、もうひと花さかせようと、17億円の銀行強盗を企て、文字通り老体に鞭打ち銀行の金庫へ向け穴を掘り進める。そこがコミカルですごく、おもしろい。でも何より思ったことは、一つのものに打ち込むことは『仲間』を作る、ということ。以前、元甲子園球児が30年ぶりに再会し野球をする番組を見たことを思い出した。30年会ってないのに「ようー!」と叫びただけで、分り合っていることがテレビから伝わってくる。それは、高校3年間一緒に辛い練習をして、戦った仲間だからできることだと感じ直つうらやましかった。私も「ようー」で分り合える仲間を探すことにしました、73歳までまだまだだし、もちろん銀行強盗以外でね。

マダムリュウの瞬間的チャイニーズクッキング



酸辛湯 (スワン・ラー・タン。酸っぱくて辛いスープ)

材料: きくらげ、タケノコ、木綿豆腐、干しシイタケ、豚肉、卵、ラー油、ゴマ油、胡椒、酢、ガラスープの素、塩、しょう油。

寒くなると中華スープが恋しくなりま。最近私が好きな「酸辛湯」を出す店が目立つようになりました。またインスタントスープにも仲間入りしているようです。簡単に具沢山のスワン・ラー・タンを紹介しましょう。

まず、それぞれの材料を細く千切りにしますが、あまり細いと食べるときの感じがよくありませんから、適当な細さと太さに切り分けます。肉以外の材料を鍋に入れ、作るスープの量に見合う水で柔らかくなるまでゆでます。沸騰したら豚肉を入れ、酒、酢、胡椒、ガラスープ、塩、しょう油(色づけ程度)で味を調えます。火を止めたらラー油とゴマ油をたらします。最後に卵をといて入れ、一度鍋の中を混ぜ合わせて水溶きの片栗粉でかるくトロミをつけて出来上がりです。

我が家ではギョーザの時のスープとして定番です。

シリーズ・チャレンジャーする男達

「ウォーキング・マラソンへの挑戦」 荻野久昌

荻野久昌

63歳で40年勤めた会社を辞めて3年半になる。もう高齢者の仲間入りをした。40年間たいした病気や事故にも遭わなかったが、会社を辞めてから間もないころ、2度救急車で病院に運び込まれるアクシデントに遭った。めまいやふらつき、手足のしびれと闘いながら、リハビリを始めた。人間の体はもろいものである。壊れるときは一瞬、回復するのには何か月もかかる。何度もあきらめようとしたが「主はすべのわざわいから、あなたを守り、あなたのいのちを守られる」と聖書にある。



御言葉に励まされながら、深夜のウォーキングとスポーツクラブで徐々にトレーニングを強化していった。今もまだ時々体に変調をきたすこともあるが、ほとんどどの状態に戻った。毎日一万歩、歩くようにもなった。トレーニングに終わりは無い。次の目標はウォーキング・マラソンである。マラソンと同じ42.195キロの距離を歩く。制限時間8時間、歩き切るためには、時速約5.5キロの速度を維持しなければならぬ。8時間という長時間にも耐えなければならぬ。来年の春から夏の挑戦を目標に体力トレーニングを続けていくとともに、精神力強化も図っていきたい。